

令和４年度第１回日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会

次 第

と き 令和４年８月３日（水）
午後２時～
ところ 日進市立図書館 視聴覚ホール

１ あいさつ

２ 議事

（１）第８期にっしん高齢者ゆめプラン実施状況について

（２）第９期にっしん高齢者ゆめプラン策定スケジュールについて

３ その他

日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会委員 名簿

	氏 名	部会	選任する内容	備 考
1	◎ 田川 佳代子	包括	学識経験を有する者	愛知県立大学 教育福祉学部教授
2	○ 井手 宏	密着	保健・医療・福祉 関係者	東名古屋医師会 日進支部
3	田村 一央	包括		愛豊歯科医師会 日進支部
4	浅井 考介	密着		日進市薬剤師会
5	原口 浩美	包括		愛知県瀬戸保健所
6	小林 宏子	密着		介護相談員
7	高藤 幸枝	密着		日進市民生委員児童委員
8	天野 典幸	包括		日進市社会福祉協議会
9	大山 英之	密着	介護サービス、介護予防 サービスの事業者	医療法人財団 愛泉会
10	藤嶋 日出樹	包括		社会福祉法人 日進福祉会
11	大川 彰治	密着		有限会社 三ヶ所
12	山中 隆生	包括		社会福祉法人 愛知三愛福祉会
13	諏訪 正美	密着		特定非営利活動法人 健やかネットワーク
14	水藤 芳枝	包括	介護保険被保険者 (公募の市民)	市民公募
15	林 志津子	密着		市民公募
16	神野 建三	包括	市長が必要と認める者	日進市老人クラブ連合会

◎会長 ○副会長

任期：令和6年3月31日まで

日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会事務局 名簿

	氏名	所属
1	川本 賀津三	健康福祉部長
2	伊東 あゆみ	健康福祉部 参事
3	祖父江 直文	健康福祉部 次長兼地域福祉課長
4	梅村 英子	介護福祉課長
5	西尾 直樹	地域福祉課 主幹兼福祉政策係長
6	小柳 和之	介護福祉課 課長補佐
7	鷹見 康崇	介護福祉課 介護保険係長
8	野村 圭一	地域福祉課 地域支援係長
9	新海 洋人	地域福祉課 福祉政策係 主査
10	中村 聡美	地域福祉課 福祉政策係 主事

○ 被保険者数の状況（R4.3月末現在）

計画値と比べ、65歳以上の第1号被保険者数は181人少ない。

第1号被保険者数	令和3年度
計画値	19,001
実績値	18,820
差	-181

○ 要介護（支援）認定者数の状況（R4.3月末現在）

計画値と比べ、認定者数の合計は40人多い。主な原因は、要介護1、要介護3の認定者数が増加しているためである。

（第1号被保険者）

認定者数	計画値	実績値	差
要支援1	462	460	-2
要支援2	543	554	+11
要介護1	589	626	+37
要介護2	447	444	-3
要介護3	318	336	+18
要介護4	400	390	-10
要介護5	286	275	-11
合計	3,045	3,085	+40

○ 認定率（認定者数／被保険者数）（R4.3月末現在）

計画値	実績値
16.3 %	16.4%

○ 給付費の状況

令和3年度の執行率は、介護給付・予防給付を含めた総給付費（Ⅰ＋Ⅱ）で94.6%となっており、計画値の範囲内の給付実績となっている。

なお、給付の特徴としては、令和2年度は鈍化していた増加率が、例年並みの伸びを示している。また、項目別では、訪問サービス全般と小規模多機能型居宅介護が増加している。

予防給付費

(単位：千円)

項 目	R3 年度 計画値 (A)	R3 年度 執行額 (B)	執行率 (%) (B)／(A)
(1) 介護予防サービス	156,206	153,824	98.5%
介護予防訪問サービス	35,491	37,442	105.5%
介護予防訪問介護	0	0	-
介護予防訪問入浴介護	0	0	-
介護予防訪問看護	24,230	26,359	108.8%
訪問リハビリテーション	4,527	3,643	80.5%
居宅療養管理指導	6,734	7,440	110.5%
介護予防通所サービス	34,806	33,690	96.8%
介護予防通所介護	0	0	-
通所リハビリテーション	34,806	33,690	96.8%
介護予防短期入所サービス	4,292	4,419	103.0%
短期入所生活介護	3,317	3,465	104.5%
短期入所療養介護	975	954	97.8%
福祉用具・住宅改修サービス	38,583	34,084	88.3%
介護予防福祉用具貸与	21,571	21,193	98.2%
特定福祉用具購入費	2,197	2,133	97.1%
介護予防住宅改修	14,815	10,758	72.6%
特定施設入居者生活介護	20,741	21,188	102.2%
介護予防支援	22,293	23,001	103.2%
(2) 地域密着型サービス	4,432	5,775	130.3%
認知症対応型通所介護	0	130	-
小規模多機能型居宅介護	1,956	2,940	150.3%
認知症対応型共同生活介護	2,476	2,705	109.3%
予防給付費計 (Ⅰ)	160,638	159,599	99.4%

※単位未満四捨五入のため、合計が合わないことがある。

介護給付費

(単位：千円)

項 目	R3 年度 計画値 (A)	R3 年度 執行額 (B)	執行率 (%) (B)／(A)
(1) 居宅サービス	2,360,214	2,323,874	98.5%
訪問サービス	949,021	971,054	102.3%
訪問介護	637,177	646,241	101.4%
訪問入浴介護	27,134	25,333	93.4%
訪問看護	191,418	200,502	104.7%
訪問リハビリテーション	14,406	14,683	101.9%
居宅療養管理指導	78,886	84,295	106.9%
通所サービス	699,342	632,560	90.5%
通所介護	504,316	418,216	82.9%
通所リハビリテーション	195,026	214,344	109.9%
短期入所サービス	132,415	130,183	98.3%
短期入所生活介護	91,998	106,703	116.0%
短期入所療養介護	40,417	23,480	58.1%
福祉用具・住宅改修サービス	122,174	148,051	121.2%
福祉用具貸与	105,250	130,713	124.2%
福祉用具購入費	4,243	4,358	102.7%
住宅改修費	12,681	12,980	102.4%
特定施設入居者生活介護	277,887	228,356	82.2%
居宅介護支援	179,375	213,669	119.1%
(2) 地域密着型サービス	573,968	569,479	99.2%
定期巡回夜間対応型 訪問介護看護	29,602	39,155	132.3%
夜間対応型訪問介護	0	0	-
認知症対応型通所介護	39,974	45,625	114.1%
小規模多機能型居宅介護	62,768	87,971	140.2%
認知症対応型共同生活介護	241,360	220,361	91.3%
地域密着型特定施設 入居者生活介護	0	0	-
地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	100,440	75,766	75.4%
看護小規模多機能型居宅介護	3540	0	-
地域密着型通所介護	96,284	100,600	104.5%

項 目	R3 年度 計画値 (A)	R3 年度 執行額 (B)	執行率 (%) (B)／(A)
(3) 介護保険施設サービス	1,516,021	1,307,893	86.3%
介護老人福祉施設	628,177	526,278	83.8%
介護老人保健施設	675,835	687,985	101.8%
介護療養型医療施設	0	10,514	-
介護医療院	212,009	83,115	39.2%
介護給付費計 (Ⅱ)	4,450,203	4,201,245	94.4%

※単位未満四捨五入のため、合計が合わないことがある。

(単位：千円)

項 目	R3 年度 計画値 (A)	R3 年度 執行額 (B)	執行率 (%) (B)／(A)
総給付費 (Ⅰ＋Ⅱ)	4,610,841	4,360,844	94.6%

その他給付費

(単位：千円)

項 目	R3 年度 計画値 (A)	R3 年度 執行額 (B)	執行率 (%) (B)／(A)
特定入所者介護サービス等費	69,226	66,501	96.1%
高額介護サービス等費	150,775	137,973	91.5%
高額医療合算介護サービス費	30,000	27,644	92.1%
審査支払手数料	2,795	2,774	99.2%
その他給付費計 (Ⅲ)	252,796	234,892	92.9%

※単位未満四捨五入のため、合計が合わないことがある。

(単位：千円)

	R3 年度 計画値 (A)	R3 年度 執行額 (B)	執行率 (%) (B)／(A)
合計 (Ⅰ) + (Ⅱ) + (Ⅲ)	4,863,637	4,595,736	94.5%

○ 日進市内の指定介護サービス事業者の状況 (R4. 7. 末現在)

(1) 居宅サービス

区分	指定事業者数 (介護)	指定事業者数 (予防)
訪問介護	18	
訪問入浴介護	0	0
訪問看護	11	11
訪問リハビリテーション	(診療所等みなし 指定除く) 2	(診療所等みなし 指定除く) 2
通所介護	14	
通所リハビリテーション	3	3
短期入所生活介護	4	4
短期入所療養介護	3	3
居宅療養管理指導	(診療所等みなし指定)	
福祉用具貸与	2	2
福祉用具販売	2	2
特定施設入居者生活介護	3	3
居宅介護支援	17	3

(2) 地域密着型サービス

区分	指定事業者数 (介護)	指定事業者数 (予防)
定期巡回随時対応型訪問介護看護	1	
夜間対応型訪問介護	0	
認知症対応型通所介護	2	2
小規模多機能型居宅介護	2	2
認知症対応型共同生活介護	5	5
地域密着型特定施設入所者生活介護	0	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	
看護小規模多機能型居宅介護	0	
地域密着型通所介護	6	

(3) 施設サービス

区分	指定事業者数
介護老人福祉施設	3
介護老人保健施設	3
介護療養型医療施設	1

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業

区分	指定事業者数 (相当サービス)	指定事業者数 (A型サービス)
訪問型	14	9
通所型	14	8

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	一般介護予防事業の充実
------	-------------

現状と課題

【現状】

- ・本市の人口は増加し続けており、人口総数の増加に応じて高齢者数も増加し続けています。
（令和2年：18,531人 ⇒ 令和5年：19,667人 約1.6倍）
- ・2025年までの高齢化率は約20%で推移するものの、第7期計画期間中に後期高齢者数が前期高齢者数を上回っており、第8期計画以降は、その差は広がっていくことが想定されます。
- ・一般高齢者を対象としたアンケート調査では、例えば、転倒に対する不安を感じている方の割合（とても不安である＋やや不安である）は42.1%、お茶や汁物等でむせることがある方の割合は23.8%、認知症チェックリストにおいて3項目以上該当する方の割合は29.6%などとなっています。
- ・介護予防のための取組について、「参加している」「今後参加してみたい」とする方の割合は42.47%となっています。
- ・参加したい介護予防の取組として、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が51.4%、「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」が31.2%、「食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室」が18.2%などとなっています。
- ・介護予防のための取組に参加したくない理由として、「参加したいものがないから」が26.4%、「どこで、どのような講習や体操などがあるのか知らないから」が21.0%などとなっています。

【課題】

- ・事業の周知・参加勧奨や、実施方法・内容等の見直しが必要
- ・「参加する」側だけでなく「企画・運営する」側に参加してもらうことで介護予防に結びつける考え方も必要

第8期における具体的な取組

- 介護予防把握事業
- 介護予防普及活動事業
 - ・介護予防講演会の開催
 - ・きらきら体操教室 ・にこにこ体操教室 ・わくわく体操教室
 - ・足腰おたっしや教室 ・健口・健食げんき教室
 - ・日進おはなしひろば（オープン回想法） ・文化財で回想法
- 地域介護予防活動支援事業
 - ・介護支援ボランティア事業
- 一般介護予防事業評価事業

- 地域リハビリテーション活動支援事業
 - ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣
- 高齢者の保健事業との一体的実施
 - ・低栄養ポピュレーションアプローチ

目標（事業内容、指標等）

- ・介護予防講演会の開催
開催回数 2回、延べ参加人数 150人
- ・きらきら体操教室
開催回数 24回、延べ参加人数 960人
- ・にこにこ体操教室
開催回数 12回、延べ参加人数 120人
- ・わくわく体操教室
開催回数 12回、延べ参加人数 120人
- ・健口・健食げんき教室
開催回数 1回、参加人数 40人
- ・日進おはなしひろば（オープン回想法）
開催回数 48回、延べ参加人数 480人
- ・文化財で回想法
開催回数 4回、延べ参加人数 20人
- ・介護支援ボランティア事業
登録ボランティア人数 160人、受入施設 25施設
- ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣
延べ派遣回数 40回
- ・低栄養ポピュレーションアプローチ（6か所）
- ・介護予防教室の対象者抽出において、特定健診結果・フレイル問診票の結果を活用する。

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・毎月や四半期ごとの実施報告書等による参加数を計上
 - ・専門職派遣実績を計上

取組と目標に対する自己評価シート

令和3年度	一般介護予防事業の充実
-------	-------------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
●介護予防普及活動事業 ・介護予防講演会の開催 開催回数 1回、参加人数 83人 ・きらきら体操教室 開催回数 20回、延べ参加人数 519人 ・にこにこ体操教室 開催回数 7回、延べ参加人数 82人 ・わくわく体操教室 新型コロナウイルス感染症の影響で年度を通じて中止 ・足腰おたっしや教室 開催回数 10回、延べ参加人数 62人 ・健口・健食げんき教室 開催回数 1回、参加人数 23人 ・日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 24回、延べ参加人数 193人 ・文化財で回想法 新型コロナウイルス感染症により中止 ・出前回想法 開催回数 2回、参加人数 48人 ●地域介護予防活動支援事業 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 145人、受入施設 31施設 ●地域リハビリテーション活動支援事業 ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣

延べ派遣回数 7回

●高齢者の保健事業との一体的実施

- ・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 3回）
- ・特定健診結果・フレイル問診票の結果を活用して、リスク毎に対象者を抽出して、介護予防教室の案内を発送。

自己評価結果

自己評価結果【○】

- ①新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間中は、事業を休止することもあったが、年間を通じて中止に至ることは少なかった。
- ②年度後半には、新たにきらきら体操教室を開始することができた。
- ③足腰おたっしや教室や健口健食げんき教室では、参加者の募集にあたり特定健診のデータを活用して対象者を絞り込んで案内をしたため、参加者の身体状況に合わせた教室を行うことができた。

課題と対応策

- ・全体的には、徐々に令和元年度以前の水準に戻りつつあるが、新型コロナウイルス感染症対策のために参加人数に制約もあるため、より多くの高齢者が参加できるように開催方法を工夫していく必要がある。
- ・特定健診のデータ等を基に案内することで、高齢者の参加動機も高まることが見込まれるため、高齢者の保健指導と介護予防の一体的実施の取り組みとして今後も案内の継続や教室内容の工夫をしていく。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	サービス見込み量に関する取組と目標
現状と課題	
日進市では、近隣市町と比べて介護サービス事業所の数が多く、サービス提供が充実している傾向にあるが、第7期中に75歳以上の被保険者数が65歳から74歳までの被保険者数を上回ったことや認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症対応型共同生活介護事業所の整備や介護医療院の開設等の施設・居住系サービスの整備を進めた。 一方で、介護サービス事業所の閉鎖（居宅介護支援、介護老人保健施設、訪問介護等）もあったので、在宅サービスと施設・居住系サービスの整備を並行して進めていく必要がある。	
第8期における具体的な取組	
第8期計画において「8期から9期にかけて整備を検討する。」とした各サービス需要及び市内事業所の整備意向を行い、需要が高く、実現性のあるサービスを把握する。 整備が必要と判断されたサービスについて、整備規模及び詳細なスケジュールを検討していき、第9期中の整備実現に向けて道筋をつける。 指定権のない介護サービス事業所等の開設に関する相談については、指定権者と情報交換、共有に努めて、市内での開設の支援を行う。	
目標（事業内容、指標等）	
事業所を対象とした施設整備意向調査を実施する。 第8期計画において、第9期にかけて整備を検討するとしたそれぞれの地域密着型サービス施設について、整備の可否、整備規模及び整備スケジュール等について計画化する。	
目標の評価方法	
● 時点 ☐中間見直しあり ☒実績評価のみ ● 評価の方法 - 整備方針等の策定状況	

取組と目標に対する自己評価シート

令和3年度	サービス利用見込み量に関する取組と目標
-------	---------------------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
第8期介護保険事業計画に定められた地域密着型サービスの施設整備について、市内事業所を対象に施設整備意向調査を実施するとともに、各事業所の入所状況について把握に努めた。
自己評価結果
自己評価結果【○】 市内事業所の整備意向や入所状況から、認知症対応型共同生活介護のサービス需要があることが把握できた。
課題と対応策
第9期の整備に向けて、認知症対応型共同生活介護の整備ユニット数やスケジュール等の詳細な計画を立てるとともに、事業者の選定方法について検討していく必要がある。また、地域密着型特定施設入居者生活介護については、そのサービス利用見込みを慎重に見極めて、整備規模やスケジュール等の詳細を検討していく。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付適正化に関する取組と目標
現状と課題	
【現状】 ・本市の人口は増加し続けており、人口総数の増加に応じて高齢者数も増加し続けています。（令和2年：18,531人 ⇒ 令和5年：19,667人 約1.6倍） ・2025年までの高齢化率は約20%で推移するものの、第7期計画期間中に後期高齢者数が前期高齢者数を上回っており、8期以降は、その差は広がっていくことが想定されます。 【課題】 ・高齢者数の増加及び後期高齢者の占める割合の上昇に、要介護等認定者数及び給付費の増加が予想される。	
第8期における具体的な取組	
・給付適正化事業と以下の5つを実施する事としている。 ①要介護認定の適正化 ②ケアプランの点検 ③住宅改修の点検 ④縦覧点検・医療情報の突合 ⑤介護給付費通知の発送 ・特にケアプランの点検については、居宅介護支援事業所への実地指導時と介護認定の認定データと給付実績データを突合したケアプラン点検を合わせて実施する。	
目標（事業内容、指標等）	
①全ての要介護認定調査について、市職員による事後点検を実施する。 ②実地指導については、国の定める最低基準である6年に1度の実地指導に対して、目標とされる3年に1度程度の頻度とする。また、定期的に介護認定の認定データと給付実績データで合致しない事例についてケアプラン点検を行う。 ③特別給付の対象となる工事については施工前訪問調査を行う。 ④愛知県国民健康保険団体連合会から提供される資料を基に突合を行う。 ⑤12か月分を被保険者に対して送付する。	
目標の評価方法	
● 時点 ☐中間見直しあり ■実績評価のみ ● 評価の方法 - 各取り組みの実施状況	

取組と目標に対する自己評価シート

令和 3 年度	介護給付適正化に関する取組と目標
---------	------------------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
② 要介護認定調査について、市職員による事後点検を実施する。 ② 実地指導を 1 2 事業所に対して行い、集団指導を書面で開催した。また、介護認定の認定データと給付実績データで合致しない事例についてケアプラン点検を行った。 ③ 特別給付の対象となる工事については施工前訪問調査を行う。 ④ 愛知県国民健康保険団体連合会から提供される資料を基に突合を行う。 ⑤ 給付費通知の発送
自己評価結果
自己評価結果【○】 ① 全ての要介護認定調査について、市職員による事後点検を実施した。 ② 目標である 3 年に 1 度の実地指導の頻度で実施することができた。ケアプラン点検は 82 件行った。 ③ 全ての特別給付の対象となる工事については施工前訪問調査を行った。 ④ 12 か月分の給付実績について突合確認を行った。 ⑤ 12 か月分の給付費通知を発送した。
課題と対応策
① 事後点検について、担当者間で情報を共有した結果を、調査員へフィードバックを行うために調査員研修を書面。令和 4 年度以降は調査員に対して調査項目の解釈に関するアンケートを行い、より効果的な研修、情報共有を行う。 ② ケアプラン点検の中には個別サービス計画の確認が必要となる事例もあるので、個別サービス計画を合わせて確認し、ケアプランの見直しを指導する事例を研究する。 ③ 特になし ④ 特になし ⑤ 特になし

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和3年度、実績値：令和4年3月末

保険者番号	23230
保険者名	日進市

ステップ1：認定率の比較（年間）

認定者数		第1号被保険者数	
（％）		（人）	
計画値	実績値	計画値	実績値
3,045	3,085	19,001	18,820
282	290	8,979	8,771
2,763	2,795	10,022	10,049

		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率		16.0%	16.4%	-0.4%	
年齢階級	前期高齢者	3.1%	3.3%	-0.2%	
	後期高齢者	27.6%	27.8%	-0.2%	

ステップ2：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	5,412	6,055	112%		
	訪問入浴介護	人/年	420	360	86%		
	訪問看護	人/年	3,516	4,083	116%		
	訪問リハビリテーション	人/年	444	522	118%		
	居宅療養管理指導	人/年	6,936	13,128	189%	乖離あり	以前から急激な実績の増びがあり、計画値と乖離が生じているため
	通所介護	人/年	5,844	5,707	98%		
	通所リハビリテーション	人/年	2,400	2,521	105%		
	短期入所生活介護	人/年	1,248	1,236	99%		
	短期入所療養介護（老健）	人/年	456	292	64%	乖離あり	コけで一部事業所が利用制限したため
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	2			
	福祉用具貸与	人/年	8,160	9,882	121%	乖離あり	
地域密着型サービス	特定施設入居者生活介護	人/年	1,344	1,162	86%		
	定期巡回・随時対応型	人/年	288	369	128%	乖離あり	
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0			
	認知症対応型通所介護	人/年	312	381	122%	乖離あり	事業所の利用率が改善したため
	小規模多機能型居宅介護	人/年	300	463	154%	乖離あり	事業所が定員増したため
	認知症対応型共同生活介護	人/年	960	913	95%		
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	0	0			
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	348	264	76%	乖離あり	事業所で空床が発生したため
施設サービス	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	12	12	100%		
	地域密着型通所介護	人/年	1,392	1,548	111%		
	介護老人福祉施設	人/年	2,292	2,027	88%		
	介護老人保健施設	人/年	2,388	2,427	102%		
介護医療院			600	233			
介護療養型医療施設		人/年	0	27			
介護予防支援・居宅介護支援		人/年	12,696	14,460	114%		

利用回数			
(回/年)			
⇒	計画値	実績値	達成率
	292	384	132%

利用回数			
(回/年)			
	計画値	実績値	達成率
⇒	1025	1548	151%

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

		(円/年)			
サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	117,734	106,728	11,006	
	訪問入浴介護	64,605	70,368	-5,763	
	訪問看護	54,442	49,106	5,335	
	訪問リハビリテーション	32,446	28,128	4,318	
	居宅療養管理指導	11,373	6,421	4,952	
	通所介護	86,296	73,281	13,015	
	通所リハビリテーション	81,261	76,892	4,369	
	短期入所生活介護	73,716	86,330	-12,613	
	短期入所療養介護（老健）	88,634	79,366	9,267	コナで一部事業所が利用制限したため
	短期入所療養介護（病院）	0	152,590	-152,590	
	福祉用具貸与	12,898	13,227	-329	
	特定施設入居者生活介護	206,761	196,519	10,242	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	102,785	106,110	-3,325	利用者の要介護度が見込みより高かったと考える。
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	
	認知症対応型通所介護	128,122	119,752	8,370	
	小規模多機能居宅介護	209,227	181,924	27,303	事業所が定員増したため
	認知症対応型共同生活介護	251,417	241,360	10,057	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	
	地域密着型介護老人福祉施設	288,621	286,994	1,626	
	看護小規模多機能型居宅介護	295,000	311,725	-16,725	
	地域密着型通所介護	69,170	64,987	4,183	
施設サービス	介護老人福祉施設	274,074	259,634	14,440	
	介護老人保健施設	283,013	283,472	-459	
	介護医療院				
	介護療養型医療施設	0	389,399	-389,399	
介護予防支援・居宅介護支援		14,128	14,777	-648	

給付費

(円/年)			(%)
計画値	実績値	対計画値	
637,177,000	646,241,053	101%	
27,134,000	25,332,521	93%	
191,418,000	200,501,782	105%	
14,406,000	14,682,907	102%	
78,886,000	84,295,274	107%	
504,316,000	418,216,258	83%	
195,026,000	193,844,904	99%	
91,998,000	106,703,373	116%	
40,417,000	23,174,989	57%	
0	305,180		
105,250,000	130,712,652	124%	
277,887,000	228,355,621	82%	
29,602,000	39,154,522	132%	
0	0		
39,974,000	45,625,474	114%	
62,768,000	84,230,761	134%	
241,360,000	220,361,334	91%	
0	0		
100,440,000	75,766,472	75%	
3,540,000	3,740,703	106%	
96,284,000	100,599,694	104%	
628,177,000	526,278,169	84%	
675,835,000	687,985,345	102%	
212,009,000	83,115,431		
0	10,513,778		
179,375,000	213,669,345	119%	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

1号被保険者のうち後期高齢者の占める割合が50%を超え、サービス提供体制の不足が懸念されている。同時に、一部の施設からは空床に関する相談もあり、施設整備を進める適切なタイミングの把握が困難である。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

		(%)			
サービス名		計画値 (8期中)	整備数 (R4.3末)	達成率 (整備数/ 計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型 (施設数)	1	1	100%	
	夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		
	認知症対応型通所介護 (施設数)	2	2	100%	
	小規模多機能居宅介護 (施設数)	2	2	100%	
	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	81	81	100%	9期に向けて、整備の時期や規模を検討していく。
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0		市内の有料老人ホーム等が転床の意向があれば対応したい。
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	29	29	100%	
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0		
	地域密着型通所介護 (施設数)	5	6	120%	

・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入してください。
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)
・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。

令和3年度は事業所の募集などは実施していない。（住宅型有料等が複数立地しており、居住系サービスの整備については、時期や規模について検討中）

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
1	いつまでも健康でいられるまち		・主観的健康感：84.0％ ・要介護等認定率：16.2％			・主観的健康感：90.0％ ・要介護等認定率：16.9％
		(1) 健康づくり活動の促進				
		①生活習慣病の対策 ・生活習慣病の対策 ・食生活、運動支援、食生活改善推進員、運動普及推進員の養成 【健康課】	・にっしん体操講習会：開催回数1回／年 ・食生活改善推進員活動数：21名 ・運動普及推進員活動数：24名 ・健康講座等参加者数：延べ85名	・にっしん体操講習会：開催回数2回／年 ・食生活改善推進員活動数：28名 ・運動普及推進員活動数：20名 ・健康講座等参加者数：79名	・にっしん体操講習会：開催回数2回／年 ・食生活改善推進員活動数：27名 ・運動普及推進員活動数：33名 ・健康講座等参加者数：79名	・食生活改善推進員活動数：30名 ・運動普及推進員活動数：30名 ・健康講座等参加者数：延べ350名
		②健康診査・がん検診、特定保健指導等の充実 ・健康診査、がん検診等の推進 ・企業との連携 ・特定保健指導 【保険年金課・健康課】	・がん検診節目年齢受診者数：延べ3,362人 ・骨検診受診者数：470名 ・特定健診（国民健康保険）受診率：40.9％（暫定値） ・後期高齢者医療健診（後期高齢者医療制度）受診率:35.29％ ・特定保健指導（国民健康保険）利用率：15.6％（暫定値） ・人工透析患者数（国民健康保険）：24人 ・人工透析患者数（後期高齢者医療制度）：115人 ・生活習慣病対象者における人工透析割合（国民健康保険）：0.4％ ・生活習慣病対象者における人工透析割合（後期高齢者医療制度）：1.5％	・がん検診節目年齢受診者数：延べ 3,672人 ・骨検診受診者数：593名 ■特定健診（国民健康保険）受診率：43.7％（暫定値） ■後期高齢者医療健診（後期高齢者医療制度）受診率:34.52％（暫定値） ■特定保健指導（国民健康保険）利用率：17.4％（暫定値） ・人工透析患者数（国民健康保険）：24人 ・人工透析患者数（後期高齢者医療制度）：115人 ・生活習慣病対象者における人工透析割合（国民健康保険）：0.4％ ・生活習慣病対象者における人工透析割合（後期高齢者医療制度）：1.5％	・がん検診節目年齢受診者数：延べ3,723人 ・骨検診受診者数：601名 ■特定健診（国民健康保険）受診率：57.0％ ■後期高齢者医療健診（後期高齢者医療制度）受診率:38.8％ ■特定保健指導（国民健康保険）利用率：49.0％ ・人工透析患者数（国民健康保険）：24人 ・人工透析患者数（後期高齢者医療制度）：115人 ・生活習慣病対象者における人工透析割合（国民健康保険）：0.4％ ・生活習慣病対象者における人工透析割合（後期高齢者医療制度）：1.5％	・がん検診節目年齢受診者数：延べ3,800人 ・骨検診受診者数：700名 ・特定健診（国民健康保険）受診率：60％ ・後期高齢者医療健診（後期高齢者医療制度）受診率:40.4％ ・特定保健指導（国民健康保険）利用率：60％ ・人工透析患者数（国民健康保険）：20人 ・人工透析患者数（後期高齢者医療制度）：115人 ・生活習慣病対象者における人工透析割合（国民健康保険）：0.4％ ・生活習慣病対象者における人工透析割合（後期高齢者医療制度）：1.5％
		③高齢者の健康課題を意識した健康づくり・介護予防の普及・啓発 【健康課】	・老人クラブや出前講座等地域における健康教育回数：延べ24回（延べ295名） ・運動普及推進員活動数：24名	■老人クラブや出前講座等地域における健康教育回数：延べ61回（延べ759名） ■運動普及推進員活動数：20名	■老人クラブや出前講座等地域における健康教育回数：延べ68回（延べ824名） ■運動普及推進員活動数：33名	・地域における健康教育回数：延べ85回 ・運動普及推進員活動数：30名
		④高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・糖尿病等重症化予防 ・低栄養等予防 【保険年金課・健康課】	・健診・医療・介護データから各事業対象者を抽出し活用できる体制を構築。後期高齢者医療制度保健事業や介護予防事業で活用した。 <ハイリスクアプローチ> ・糖尿病重症化予防事業受診勧奨訪問：14人（国保11人・後期3人） ・糖尿病腎症重症化予防事業保健指導：11人（国保10人・後期移行1人） ・低栄養アプローチ事業：23人（後期のみ） <ポピュレーションアプローチ> ・啓発（フレイルに関する個別通知）、健康教育、健康状態の把握：計11,460人	■健診・医療・介護データから各事業対象者を抽出し活用できる体制を構築。後期高齢者医療制度保健事業や介護予防事業で活用した。 <ハイリスクアプローチ> ■糖尿病重症化予防事業受診勧奨訪問：17人（国保10人・後期7人） ■糖尿病腎症重症化予防事業保健指導：3人（国保3人・後期移行0人） ■低栄養アプローチ事業：30人（後期のみ） <ポピュレーションアプローチ> ■啓発（フレイルに関する個別通知）、健康教育、健康状態の把握：未確定 ●・生涯学習部門との連携	■健診・医療・介護データから各事業対象者を抽出し活用できる体制を構築。後期高齢者医療制度保健事業や介護予防事業で活用した。 <ハイリスクアプローチ> ■糖尿病重症化予防事業受診勧奨訪問：20人（国保10人・後期10人） ■糖尿病腎症重症化予防事業保健指導：10人（国保9人・後期移行1人） ・低栄養アプローチ事業：30人（後期のみ） ★・栄養パトロール事業：170人 <ポピュレーションアプローチ> ■啓発（フレイルに関する個別通知）、健康教育、健康状態の把握：未確定 ■生涯学習部門との連携	・高齢者の健康課題分析を基に対象者抽出し、分後期高齢者医療制度保健事業や介護予防事業で活用。 <ハイリスクアプローチ> ・糖尿病重症化予防事業受診勧奨訪問：10人（国保8人・後期2人） ・糖尿病腎症重症化予防事業保健指導：3人（国保2人・後期移行1人） ・低栄養アプローチ事業：35人（後期のみ） <ポピュレーションアプローチ> ・啓発（個別）、健康教育、健康状態の把握：計11,460人

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
		⑤歯と口腔の健康づくり対策 ・市民の取組に関する対策 ・ライフステージに応じた対策 ・関連施策との連携対策 ・地域での対策 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・福祉会館】	・成人歯周病検診受診者数 1,373人 ・コミュニティサロン 参加会員を対象に歯科衛生士による歯と口腔の健康づくりに関する講話を開催 6箇所 年1回開催 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため全館中止。 ・糖尿病連携手帳の活用に関する普及・啓発 ・70～74歳前期高齢者受給者証にフレイル予防チラシ同封。 ・75歳後期高齢者医療制度保険証発送時にフレイル予防チラシ同封。 ・後期高齢者医療健診案内にフレイルについて記載のチラシ同封。 ・後期高齢者医療健診質問票がフレイルに関する項目に変更とともに、健診結果説明時フレイルに関するチラシ配付。 (各フレイルの内容にオーラルフレイルに関する内容を掲載)	・介護保険料納入通知書発送時にフレイル予防チラシ同封。 ・成人歯周病検診受診者数1,346人 ・オーラルフレイルに関する啓発 保健師や歯科衛生士による老人クラブへの健康教育や広報にっしんへの掲載、パンフレットを作成し全戸配布した。 ■コミュニティサロン 参加会員を対象に歯科衛生士による歯と口腔の健康づくりに関する講話を開催 6箇所 年1回開催 参加人数87名 ■糖尿病連携手帳の活用に関する普及・啓発 ■70～74歳前期高齢者受給者証にフレイル予防チラシ同封。 ■75歳後期高齢者医療制度保険証発送時にフレイル予防チラシ同封。 ■後期高齢者医療健診案内にフレイルについて記載のチラシ同封。 ■後期高齢者医療健診結果説明時フレイルに関するチラシ配付。	・介護保険料納入通知書発送時にフレイル予防チラシ同封。 ・成人歯周病検診受診者数1,421人 ・オーラルフレイルに関する啓発 保健師や歯科衛生士による老人クラブへの健康教育や広報にっしんへの掲載 ■コミュニティサロン 参加会員を対象に歯科衛生士による歯と口腔の健康づくりに関する講話を開催 6箇所 年1回開催 ■糖尿病連携手帳の活用に関する普及・啓発 ■70～74歳前期高齢者受給者証にフレイル予防チラシ同封。 ■75歳後期高齢者医療制度保険証発送時にフレイル予防チラシ同封。 ■後期高齢者医療健診案内にフレイルについて記載のチラシ同封。 ■後期高齢者医療健診結果説明時フレイルに関するチラシ配付。	・成人歯周病検診受診者数 1,400人 ・コミュニティサロン 参加会員を対象に歯科衛生士による歯と口腔の健康づくりに関する講話を開催 6箇所 年1回開催 ・糖尿病連携手帳の活用に関する普及・啓発 ・70～74歳前期高齢者受給者証にフレイル予防チラシ同封。 ・75歳後期高齢者医療制度保険証発送時にフレイル予防チラシ同封。 ・後期高齢者医療健診案内にフレイルについて記載のチラシ同封。 ・後期高齢者医療健診質問票がフレイルに関する項目に変更とともに、健診結果説明時フレイルに関するチラシ配付。 (各フレイルの内容にオーラルフレイルに関する内容を掲載) ・オーラルフレイルポピュレーションアプローチの拡大
		⑥市民主体の活動支援 ・つどいの場による自主的な介護予防活動 ぷらっとホーム ほっとカフェ ふれあい・いきいきサロン にっしん体操スポット ・つどいの場運営助成 【地域福祉課・健康課・保険年金課】	・つどいの場 66箇所 ぷらっとホーム 6箇所 ほっとカフェ 22箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 28箇所 その他 7箇所 ・つどいの場運営助成 14団体、471,925円 つどいの場公開プレゼン助成 2団体、200,000円（地福）	■つどいの場 76箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 26箇所 ふれあい・いきいきサロン 9箇所 にっしん体操スポット 29箇所 その他 5箇所 ■つどいの場運営助成 14団体、435,466円（他、赤い羽根公募プレゼン助成 1団体、50,000円）（地福）	■つどいの場 81箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 27箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 7箇所 ■つどいの場運営助成 18団体、600,000円（つどいの場公開プレゼン助成 2団体、200,000円）（地福）	・つどいの場 85箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 25箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 8箇所 ・つどいの場運営助成 18団体、600,000円 つどいの場公開プレゼン助成 3団体、300,000（地福）
		⑦身近な地域での健康づくり、介護予防の普及 ・地域における健康づくりの普及、啓発 ・運動普及推進員による普及活動 ・にっしん健康マイレージの推進 ・ヘルピーウォーキングマップの周知 ・おたっしやハウスの実施 ・コミュニティサロンの実施 【地域福祉課・保険年金課・健康課・福祉会館】	・にっしん体操スポット：28か所 ・運動普及推進員活動数：24名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：1016名 ・ヘルピーウォーキングマップ 全域回覧：2587枚 ・おたっしやハウス 6箇所 106回 延べ参加人数 2,790名（1回当たり平均参加者数 26.3名） ・コミュニティサロン 6箇所 71回 述べ参加人数 638名（1回当たり平均参加者数 8.99名） ※新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館や事業中止 期間があり回数、参加人数ともに大幅な減少となった。 1回当たりの参加者数についても3密防止のためグループ分けにより各回の参加者を半数程度としたため減少した。 ・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所） ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 5回	■つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 7回 ・にっしん体操スポット：29か所 ・運動普及推進員活動数：20名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：885名 ▲ヘルピーウォーキングマップ コロナの影響により全域回覧中止した。代替えとしてすこやかになっしん通信に記事掲載 ★ヘルピーストレッチの動画作成、周知（ヘルピー健康だより、市HP、保健センターガイドにて） ■おたっしやハウス 6箇所 153回 延べ参加人数 3,974名（1回当たり平均参加者数 26.0名） ■コミュニティサロン 6箇所 137回 述べ参加人数 971名（1回当たり平均参加者数 7.09名） ※新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館や事業中止期間があり回数、参加人数ともに前年度と比較して横ばいとなっている。 1回当たりの参加者数についても3密防止のためグループ分けにより各回の参加者を半数程度としたため減少した。 ・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 3回）	■つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 20回 ・にっしん体操スポット：30か所 ・運動普及推進員活動数：33名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：1000名 ▲ヘルピーウォーキングマップ コロナの影響により全域回覧中止。すこやかになっしん通信、保健センターガイドにて周知記事掲載 ★ヘルピーストレッチの啓発、周知（すこやかになっしん通信、保健センターガイドにて） ■おたっしやハウス 6箇所 週1回開催（1回あたり平均参加者数 60名） ■コミュニティサロン 6箇所 週1回開催（1回あたり平均参加者数 30名） ★アクティブシニア倶楽部 全12回開催（定員20名） ■おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 4回）	・にっしん体操スポット：30か所 ・運動普及推進員：30名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：1100名 ・ヘルピーウォーキングマップ 全域回覧：2600枚 ・おたっしやハウス 6箇所 週1回開催（1回あたり平均参加者数 60名） ・コミュニティサロン 6箇所 週1回開催（1回あたり平均参加者数 30名） ・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（6か所） ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 40回

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
		⑧専門職を活用した健康づくり ・足腰おたっしやクラブ （介護予防・生活支援サービス） ・健口健食元気クラブ （介護予防・生活支援サービス） ・ゆうゆう体操教室、わくわく体操教室、にこにこ体操教室（一般介護予防事業） ・日進おはなしひろば、出前回想法（一般介護予防事業） ・つどいの場専門職派遣（一般介護予防事業） 【地域福祉課・健康課・保険年金課】	・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所）（保険年金）（介護予防・生活支援サービス） ・足腰おたっしやクラブ、健口・健食げんきクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響で年度を通じて中止 （一般介護予防事業） ・にこにこ体操教室 開催回数 2回、延べ参加人数 24人 ・ゆうゆう体操教室、わくわく体操教室 新型コロナウイルス感染症の影響で年度を通じて中止 ・足腰おたっしや教室 開催回数 2箇所（各3回）、延べ参加人数 35人 ・健口・健食げんき教室 開催回数 1回、参加人数 37人 ・日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 16回、延べ参加人数130人 ・文化財で回想法 開催回数 4回、延べ参加人数 12人 ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 5回（地福）	■おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 3回） （介護予防・生活支援サービス） ■足腰おたっしやクラブ 2コース（計7回）、延べ参加人数 54人 （一般介護予防事業） ★きらきら体操教室 開催回数 20回、延べ参加人数 519人 ■にこにこ体操教室 開催回数 7回、延べ参加人数 82人 ■わくわく体操教室 新型コロナウイルス感染症の影響で年度を通じて中止 ■足腰おたっしや教室 開催回数 10回、延べ参加人数 62人 ■健口・健食げんき教室 開催回数 1回、参加人数 23人 ■日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 24回、延べ参加人数193人 ■文化財で回想法 新型コロナウイルス感染症により中止 ■つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 7回	■おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 4回） （介護予防・生活支援サービス） ■足腰おたっしやクラブ 8コース（1コース12回）、延べ参加人数 80人 （一般介護予防事業） ■きらきら体操教室 開催回数 48回、延べ参加人数 1,920人 ■にこにこ体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ■わくわく体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ■健口・健食げんき教室 開催回数 2回、延べ参加人数 60人 ■日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 48回、延べ参加人数480人 ■文化財で回想法 開催回数 4回、延べ参加人数 20人 ■つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 40回	・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（6か所） 介護予防・生活支援サービス） ・足腰おたっしやクラブ、健口・健食げんきクラブ 8コース（1コース12回）、延べ参加人数 80人 （一般介護予防事業） ・にこにこ体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ・体操教室（新規） 開催回数 24回、延べ参加人数 960人 ・わくわく体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ・健口・健食げんき教室 開催回数 1回、参加人数 40人 ・日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 48回、延べ参加人数480人 ・文化財で回想法 開催回数 4回、延べ参加人数 20人 ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 40回
		⑨生涯スポーツの推進 【生涯学習課】	・日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 岩崎・梅森・赤池・米野木地区等で4講座開催	■日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 岩崎・梅森・赤池地区等で4講座開催	■日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 市内各地区で6講座開催	・日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 市内各地区で6講座開催
	(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進					
		①介護予防・生活支援サービス事業の充実 ・訪問型サービス ・通所型サービス ・その他の生活支援サービス ・介護予防ケアマネジメント ・要介護認定者による介護予防、生活支援サービス事業の利用 【地域福祉課・介護福祉課】	・訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 26箇所、A型 13箇所 令和3年3月サービス提供延べ件数 現行相当 618件、A型 752件 ・通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 28箇所、A型 13箇所 令和3年3月サービス提供延べ件数 現行相当 651件、A型 1,137件 ・介護予防ケアマネジメント実施件数 令和3年3月提供分 296件	■訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 27箇所、A型 14箇所 令和4年3月サービス提供延べ件数 現行相当 477件、A型 731件 ■通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 29箇所、A型 13箇所 令和4年3月サービス提供延べ件数 現行相当 533件、A型 1098件 ■介護予防ケアマネジメント実施件数 令和4年3月提供分 296件	■訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 27箇所、A型 14箇所 令和5年3月サービス提供延べ件数 現行相当 650件、A型 750件 ■通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 29箇所、A型 13箇所 令和5年3月サービス提供延べ件数 現行相当 650件、A型 1,100件 ■介護予防ケアマネジメント実施件数 令和5年3月提供分 310件	・訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 26箇所、A型 13箇所 令和6年3月サービス提供延べ件数 現行相当 700件、A型 800件 ・通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当 28箇所、A型 13箇所 令和6年3月サービス提供延べ件数 現行相当 700件、A型 1,200件 ・介護予防ケアマネジメント実施件数 令和6年3月提供分 320件

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本目標	施策の方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
		②一般介護予防事業の充実 ・介護予防把握事業 ・介護予防普及活動事業 ・地域介護予防活動支援事業 ・一般介護予防事業評価事業 ・地域リハビリテーション活動支援事業 ・高齢者の保健事業との一体的実施 【地域福祉課・保険年金課】	・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所） ・健口・健食げんき教室の対象者抽出において、特定健診結果（BMI）を活用した。 ・介護予防講演会の開催 開催回数 1回、参加人数 57人 ・にこにこ体操教室 開催回数 2回、延べ参加人数 24人 ・ゆうゆう体操教室、わくわく体操教室 新型コロナウイルス感染症の影響で年度を通じて中止 ・足腰おたっしや教室 開催回数 2箇所（各3回）、延べ参加人数 35人 ・健口・健食げんき教室（一体的実施） 開催回数 1回、参加人数 37人 ・日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 16回、延べ参加人数130人 ・文化財で回想法 開催回数 4回、延べ参加人数 12人 ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 5回 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 141人、受入施設 6施設	■おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 3回） ■介護予防講演会の開催 開催回数 1回、参加人数 83人 ★きらきら体操教室 開催回数 20回、延べ参加人数 519人 ■にこにこ体操教室 開催回数 7回、延べ参加人数 82人 ■わくわく体操教室 新型コロナウイルス感染症の影響で年度を通じて中止 ■足腰おたっしや教室 開催回数 10回、延べ参加人数 62人 ■健口・健食げんき教室 開催回数 1回、参加人数 23人 ■日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 24回、延べ参加人数193人 ■文化財で回想法 新型コロナウイルス感染症により中止 ■つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 7回 ■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 145人、受入施設 31施設	■おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（1か所 4回） ■介護予防講演会の開催 開催回数 2回、延べ参加人数 150人 ■きらきら体操教室 開催回数 44回、延べ参加人数 1,760人 ■にこにこ体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ■わくわく体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ■健口・健食げんき教室 開催回数 2回、参加人数 60人 ■日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 48回、延べ参加人数480人 ■文化財で回想法 開催回数 4回、延べ参加人数 20人 ■つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 20回 ■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 150人、受入施設 31施設	・おたっしやハウス低栄養ポピュレーションアプローチ（6か所） ・介護予防教室の対象者抽出において、特定健診結果・フレイル問診票の結果を活用する。 ・介護予防講演会の開催 開催回数 2回、延べ参加人数 150人 ・にこにこ体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ・体操教室（新規） 開催回数 24回、延べ参加人数 960人 ・わくわく体操教室 開催回数 12回、延べ参加人数 120人 ・健口・健食げんき教室 開催回数 1回、参加人数 40人 ・日進おはなしひろば（オープン回想法） 開催回数 48回、延べ参加人数480人 ・文化財で回想法 開催回数 4回、延べ参加人数 20人 ・つどいの場への理学療法士等専門職派遣 延べ派遣回数 40回 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 160人、受入施設 25施設
	(3) 就労・社会参加機会の拡充	①高齢者の活動機会の提供 ・くるりんばす等による外出支援 ・つどいの場活動支援 ・シルバー人材センターの活動支援 ・生涯学習の場の充実、情報提供 【地域福祉課・防災交通課・生涯学習課】	・いきいきシルバースクール 新型コロナウイルスの影響により事業中止 ・市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌 講座募集チラシによる情報提供 ・くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 3,104か月分／年 ・シルバー人材センター会員数 495名 ・住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 6地区 ・つどいの場 66箇所 ぷらっとホーム 6箇所 ほっとカフェ 22箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 28箇所 その他 7箇所 ・つどいの場運営助成 14団体、471,925円 つどいの場公開プレゼン助成 2団体、200,000円	■いきいきシルバースクール 感染症対策のため、オンラインにて実施（機材がない方向けに視聴会場開設） 参加者 43名 ■市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌 講座募集チラシによる情報提供 ■くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 2,636か月分／年 ■シルバー人材センター就業登録者数 492名 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■つどいの場 76箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 26箇所 ふれあい・いきいきサロン 9箇所 にっしん体操スポット 29箇所 その他 5箇所 ■つどいの場運営助成 14団体、435,466円（他、赤い羽根公募プレゼン助成 1団体、50,000円）	■いきいきシルバースクール 3箇所毎月1回程度実施予定 参加者 80名 ■市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌 講座募集チラシによる情報提供 ■くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 3,650か月分／年 ■シルバー人材センターの活動支援を継続実施 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■つどいの場 81箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 27箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 7箇所 ■つどいの場運営助成 18団体、600,000円（つどいの場公開プレゼン助成 2団体、200,000円）	・いきいきシルバースクール 3箇所各13回 参加者数100人 ・市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌 講座募集チラシによる情報提供 ・くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 4,130か月分／年 ・シルバー人材センター会員数 550名 ・住民主体による高齢者移動支援の実施 実施地区 8地区 ・つどいの場 85箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 25箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 8箇所 ・つどいの場運営助成 18団体、600,000円 つどいの場公開プレゼン助成 3団体、300,000

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
2 在宅で生活し続けられるまち		②担い手としての社会参加推進 ・生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、就労的活動支援コーディネーターによる支援 ・社会参加しやすい環境づくり 【地域福祉課】	・生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 1回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ・コミュニティソーシャルワーカー配置数 3名、相談件数 319件 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 141人、受入施設 6施設 ・ボランティアセンター登録団体数 68団体 ボランティア相談 相談件数 45件	■生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 0回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ■コミュニティソーシャルワーカー配置数 3名、相談件数 599件 ■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 145人、受入施設 31施設 ■ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 105件	■生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ■コミュニティソーシャルワーカー配置数 3名、相談件数 550件 ■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 150人、受入施設 31施設 ■ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 80件	・生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ・コミュニティソーシャルワーカー配置数 4名、相談件数 400 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 160人、受入施設 25施設 ・ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 75件
		③就労、社会参加の場の確保 ・シルバー人材センターの活動支援 ・ボランティア活動の事業、就労的活動の支援 ・地域の主体的な取組支援 【地域福祉課】	・シルバー人材センター会員数 495名 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 141人、受入施設 6施設 ・ボランティアセンター登録団体数 68団体 ボランティア相談 相談件数 45件	■シルバー人材センター就業登録者数 492名 ■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 145人、受入施設 31施設 ■ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 105件	■シルバー人材センターの活動支援を継続実施 ■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 150人、受入施設 31施設 ■ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 80件	・シルバー人材センター就業登録者数 550名 ・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 160人、受入施設 25施設 ・ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 75件
		④生涯学習の推進 ・生涯学習の場の情報提供 【生涯学習課】	・にっしん市民教室 16講座 160回 延参加者数5,371人 ・いきいきシルバースクール	■にっしん市民教室 1 3 講座 ■いきいきシルバースクール	■にっしん市民教室 1 4 講座 ■いきいきシルバースクール	・にっしん市民教室 16講座 160回 延参加者数5,371人 ・いきいきシルバースクール
				・在宅医療・介護連携システムの活用：51.7% ・地域包括支援センターの認知度：54.1%		
(1) 在宅医療と介護連携の推進						
		①在宅医療・介護連携の資源及び課題の把握、施策の企画立案 ・地域の医療、介護資源の把握 ・在宅医療、介護連携の課題の抽出と施策の企画立案 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課】	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進のための検討部会9回/年 ・訪問診療医選任システム、訪問歯科診療協力歯科医療機関一覧、在宅医療対応薬局リストを作成、電子@連絡帳で公表 ・地域包括ケア検討会議 開催回数 3回 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回	■高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進のための検討部会4回/年 ■訪問診療医選任システム、訪問歯科診療協力歯科医療機関一覧、在宅医療対応薬局リストを作成、電子@連絡帳で公表 ■地域包括ケア検討会議 開催回数 2回(6/1・3/14) ■在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回(6/18・2/14)	■高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進のための検討部会4回/年 ■訪問診療医選任システム、訪問歯科診療協力歯科医療機関一覧、在宅医療対応薬局リストを作成、電子@連絡帳で公表 ■地域包括ケア検討会議 開催回数 3回 ■在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進のための検討部会3回/年 ・訪問診療医選任システム、訪問歯科診療協力歯科医療機関一覧、在宅医療対応薬局リストを充実、電子@連絡帳で公表 ・地域包括ケア検討会議 開催回数 3回 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回
		②在宅医療・介護連携に関する相談支援 ・在宅医療・介護連携支援センター「やまびこ日進」の運営 【地域福祉課】	・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 29件	■在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 39件	■在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 50件	・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 50件
		③市民への普及啓発 【地域福祉課】	・講演会、出前講座等の開催 開催回数 1回、参加者数 110人 ・「在宅医療と介護」パンフレットの作成、配布	■講演会、出前講座等の開催 開催回数 1回、参加者数 122人	■講演会、出前講座等の開催 開催回数 1回	・講演会、出前講座等の開催 開催回数 1回

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
		④医療・介護関係者の情報共有の支援及び研修の充実 ・在宅医療・介護連携システムの活用 ・医療と介護の多職種連携研修会 【地域福祉課】	・電子@連絡帳の運用 登録者数 259人 登録機関数 146機関 うち 病院・クリニック 31機関 歯科医院 32機関、薬局 29機関 訪問看護 7機関、訪問介護 3機関 居宅介護支援事業所 19機関 通所介護7、通所リハ4 等 ・やまびこ日進井戸端会議の開催 開催回数 3回、延べ参加者数 20人 ・薬剤師会との交流会 開催回数 1回、参加人数 6人（オンライン 30事業所） ・医療と介護の意見交換会 開催回数 1回、参加人数 22人	■電子@連絡帳の運用 登録者数 276人 登録機関数 170機関 うち 病院・クリニック 33機関 歯科医院 32機関、薬局 31機関 訪問看護 8機関、訪問介護 7機関 居宅介護支援事業所 21機関 通所介護 13、通所リハ4 等 ■やまびこ日進井戸端会議の開催 開催回数 8回、延べ参加者数 67人 ■医療と介護の意見交換会 開催回数 1回、参加人数 26人 ■H20ミーティング 開催回数 5回、延べ参加者数 73人	■電子@連絡帳の運用 登録者数 290人 登録機関数 180機関 ■やまびこ日進井戸端会議の開催 開催回数 8回、延べ参加者数 70人 ■薬剤師会との交流会 開催回数 1回 ■歯科医師会との勉強会 開催回数 1回 ■医療と介護の意見交換会 開催回数 1回 ■H20ミーティング 開催回数 5回、延べ参加者数 75人	・電子@連絡帳の運用 登録者数 300人 登録機関数 160機関 ・やまびこ日進井戸端会議の開催 開催回数 1回 ・薬剤師会との交流会 開催回数 1回 ・医療と介護の意見交換会 開催回数 1回
	(2) 生活支援体制の拡充	①生活支援サービスの実施 ・緊急通報システムの取り付け ・訪問理美容サービス ・エコサポート ・配食サービス ・シルバーサポートサービス ・寝具洗濯乾燥サービス ・日常生活用具の給付 ・移動支援 【地域福祉課・介護福祉課】	◆緊急通報システムの取り付け：延100人／年 ◆訪問理美容サービス：延88人／年 ◆エコサポート：延5,312人／年 ◆配食サービス：93人 ◆寝具洗濯乾燥サービス：延7人／年 ◆日常生活用具の給付：延1人／年 ◆シルバーサポートサービス：延10人/年 ・福祉有償運送事業への支援 ドライバー認定講習会の開催 開催回数 1回、修了人数 20人（うち日進市 9人） ・住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 6地区	■福祉有償運送事業への支援 ドライバー認定講習会の開催 開催回数 1回、修了人数 20人（うち日進市 7人） ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■緊急通報システムの取り付け：延97人／年 ■訪問理美容サービス：延93人／年 ■エコサポート：延6,417人／年 ■配食サービス：107人 ■寝具洗濯乾燥サービス：延7人／年 ■日常生活用具の給付：延1人／年 ■シルバーサポートサービス：延12人／年	■福祉有償運送事業への支援 ドライバー認定講習会の開催 開催回数 1回、修了人数 10人 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 15人 ■緊急通報システムの取り付け：延105人／年 ■訪問理美容サービス：延95人／年 ■エコサポート：延6,500人／年 ■配食サービス：延110人／年 ■寝具洗濯乾燥サービス：延10人／年 ■日常生活用具の給付：延2人／年 ■シルバーサポートサービス：延12人/年	◆緊急通報システムの取り付け：延120人／年 ◆訪問理美容サービス：延70人／年 ◆エコサポート：延5,300人／年 ◆配食サービス：延110人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延10人／年 ・日常生活用具の給付：延2人／年 ◆シルバーサポートサービス：延12人/年 ・福祉有償運送事業への支援 ドライバー認定講習会の開催 開催回数 1回、修了人数 10人（日進市） ・住民主体による高齢者移動支援の実施 実施地区 8地区
	(3) 高齢者の住まいの確保	①高齢者の居住安定に係る施策の連携 【介護福祉課】	◆緊急通報システムの取り付け：延100人／年 ◆訪問理美容サービス：延88人／年 ◆エコサポート：延5,312人／年 ◆配食サービス：93人 ◆寝具洗濯乾燥サービス：延7人／年 ◆日常生活用具の給付：延1人／年 ◆シルバーサポートサービス：延10人/年	■緊急通報システムの取り付け：延97人／年 ■訪問理美容サービス：延93人／年 ■エコサポート：延6,417人／年 ■配食サービス：107人 ■寝具洗濯乾燥サービス：延7人／年 ■日常生活用具の給付：延1人／年 ■シルバーサポートサービス：延12人／年	■緊急通報システムの取り付け：延105人／年 ■訪問理美容サービス：延95人／年 ■エコサポート：延6,500人／年 ■配食サービス：延111人／年 ■寝具洗濯乾燥サービス：延10人／年 ■日常生活用具の給付：延2人／年 ■シルバーサポートサービス：延12人/年	◆緊急通報システムの取り付け：延120人／年 ◆訪問理美容サービス：延70人／年 ◆エコサポート：延5,300人／年 ◆配食サービス：延110人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延10人／年 ・日常生活用具の給付：延2人／年 ◆シルバーサポートサービス：延12人/年
		②住宅改修等による住環境整備 ・リフォームヘルパー制度 ・住まいの情報発信 【介護福祉課・都市計画課】	（住まいの情報発信について） 各種補助制度を中心とした情報を市ホームページ等や窓口において周知を図る。 ・リフォームヘルパー実施件数：39件／年	■各種補助制度を中心とした情報を市のホームページ、広報誌、窓口等において周知を図った。 ■リフォームヘルパー実施件数：24件／年（1月末現在）	■各種補助制度を中心とした情報を市のホームページ、広報誌、窓口等において周知を図る。 ■リフォームヘルパー実施件数：36件／年	（住まいの情報発信について） 継続実施 リフォームヘルパー実施件数：36件／年

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
		（4）地域包括支援センターの機能や体制の強化				
		①地域包括支援センターの機能や体制の強化 ・地域包括支援センターによる相談支援体制の強化 ・組織の連携強化 ・人員体制の確保 ・地域ケア会議の充実 ・地域包括支援センター事業評価 【地域福祉課】	・地域包括支援センターの設置数 3箇所 ・3職種一人あたり高齢者数 1,581人 ・地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 35,841件 ・地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 3,815件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 13回（3包括合計） ・全国統一指標における達成状況について、運営協議会に報告、改善点等について検討	■地域包括支援センターの設置数 3箇所 ■3職種一人あたり高齢者数 1,568人 ■地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 36,959件 ■地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 3,523件 ■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 20回（3包括合計） ■全国統一指標における達成状況について、運営協議会に報告、改善点等について検討	■地域包括支援センターの設置数 3箇所 ■3職種一人あたり高齢者数 1,568人 ■地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 37,000件 ■地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 3,900件 ■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計） ■全国統一指標における達成状況について、運営協議会に報告、改善点等について検討	・地域包括支援センターの設置数 3箇所 ・3職種一人あたり高齢者数 1,500人以下 ・地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 40,000件 ・地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 4,000件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計） ・全国統一指標における達成状況について、運営協議会に報告、改善点等について検討
3	地域で支え合えるまち		・ボランティアグループの参加率：17.2％ ・地域づくり活動への参加意向（企画・運営）：35.3％			・ボランティアグループの参加率：20.0％ ・地域づくり活動への参加意向（企画・運営）：40.0％
		（1）多様な主体の参画				
		①多様な社会資源の把握と活用 ・生活支援体制の整備 ・社会資源の把握と情報発信 ・協議体の活用 【地域福祉課】	・生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 8人 ・住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 6地区 ・地域支え合い円卓会議の開催 開催回数 1回（オンライン配信） ・事業説明会の開催 開催回数 7回、参加人数 120人 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 1回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計）	■生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■地域支え合い円卓会議の開催 開催回数 1回（3/24） ■事業説明に係る区長訪問の実施 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 0回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計）	■生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■地域支え合い円卓会議の開催 開催回数 2回 ・事業説明会の開催 開催回数 8回 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計）	・生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ・住民主体による高齢者移動支援の実施 実施地区 8地区 ・地域支え合い円卓会議の開催 開催回数 2回 ・事業説明会の開催 開催回数 10回 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計）
		②地域資源を活用した多様なサービスの創設 ・生活支援体制の整備（再掲） ・協議体の活用（再掲） ・民間事業者との連携 【地域福祉課】	・生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 8人 ・住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 6地区 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 1回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 49事業所	■生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 0回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 51事業所	■生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ■住民主体による高齢者移動支援推進事業の実施 モデル事業実施地区 8地区 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 53事業所	・生活支援コーディネーターの配置 第1層配置数 2名、第2層配置数 3名 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ・住民主体による高齢者移動支援の実施 実施地区 8地区 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 50事業所

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
	(2) 多様な担い手の育成支援、交流機会の充実					
		①多様な担い手の養成 ・多様な担い手の確保 ・生活支援サポーター養成及び就労支援 ・認知症サポーターの養成 ・まちの守り人の養成 ・市民主体による人材育成活動の支援 【地域福祉課】	・ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 14人 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 8人 ・認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 9回、延養成人数 140人 ・まちの守り人養成講座の開催 開催回数 6回、養成人数530人	■ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 18回、延養成人数 191人 ■まちの守り人養成講座の開催 開催回数 7回、養成人数792人	■ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 15人 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ■認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 10回、延養成人数 250人 ■まちの守り人養成講座の開催 開催回数 7回、養成人数700人	・ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 15人 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ・認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 15回、延養成人数 220人 ・まちの守り人養成講座の開催 開催回数 8回、養成人数500人
		②市民全体の支え合い拠点づくりと交流機会の充実 ・協議体の活用（再掲） ・つどいの場の設置支援 ぷらっとホーム（再掲） ほっとカフェ（再掲） ふれあい、いききサロン（再掲） つどいの場運営助成（再掲） にっしん体操スポット（再掲） ・つどいの場運営助成（再掲） 【地域福祉課】	・協議体の開催 第1層協議体開催回数 1回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ・つどいの場 66箇所 ぷらっとホーム 6箇所 ほっとカフェ 22箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 28箇所 その他 7箇所 ・つどいの場運営助成 14団体、471,925円 つどいの場公開プレゼン助成 2団体、200,000円	■協議体の開催 第1層協議体開催回数 0回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ■つどいの場 76箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 26箇所 ふれあい・いきいきサロン 9箇所 にっしん体操スポット 29箇所 その他 5箇所 ■つどいの場運営助成 14団体、435,466円（他、赤い羽根公募プレゼン助成 1団体、50,000円）	■協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ■つどいの場 81箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 27箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 7箇所 ■つどいの場運営助成 18団体、600,000円（つどいの場公開プレゼン助成 2団体、200,000円）	・協議体の開催 第1層協議体開催回数 1回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ・つどいの場 85箇所 ぷらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 25箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 8箇所 ・つどいの場運営助成 18団体、600,000円 つどいの場公開プレゼン助成 3団体、300,000
		③老人クラブ等の活動支援 【地域福祉課】	・老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ 37団体	■老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ 37団体	■老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ 37団体	・老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ 37団体
	(2) 身近な地域における見守り体制の強化					
		①避難行動要支援者支援の推進 【地域福祉課】	・避難行動要支援者名簿登録者数 1,062名	・避難行動要支援者名簿登録者数 1,054名	・避難行動要支援者名簿登録者数 1,100名	・避難行動要支援者名簿登録者数 1,200名
		②見守り体制の強化 ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定の充実 ・まちの守り人の養成（再掲） 【地域福祉課】	・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 49事業所 ・まちの守り人養成講座の開催 開催回数 6回、養成人数530人	■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 51事業所 ■まちの守り人養成講座の開催 開催回数 7回、養成人数792人	■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 53事業所 ■まちの守り人養成講座の開催 開催回数 7回、養成人数700人	・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 50事業所 ・まちの守り人養成講座の開催 開催回数 8回、養成人数500人

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
4	要介護・認知症の人と家族にやさしいまち		・認知症サポーターの認知度：7.8％ ・介護を理由に退職した家族・親族の有無：7.0％			・認知症サポーターの認知度：10.0％ ・介護を理由に退職した家族・親族の有無：3.0％
		(1) 相談支援体制と関係機関のネットワーク強化				
		①相談支援体制の充実 ・地域包括支援センターによる相談支援体制の強化（再掲） ・市の福祉相談支援体制の充実 ・在宅医療・介護連携支援センター「やまびこ日進」の運営（再掲） ・栄養ケアサポート薬局による相談支援 【地域福祉課】	・地域包括支援センターの設置数 3箇所 ・3職種一人あたり高齢者数 1,581人 ・地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 35,841件 ・地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 3,815件 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 29件	■地域包括支援センターの設置数 3箇所 ■3職種一人あたり高齢者数 1,568人 ■地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 36,959件 ■地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 3,523件 ■在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 39件	■地域包括支援センターの設置数 3箇所 ■3職種一人あたり高齢者数 1,567人 ■地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 37,000件 ■地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 3,900件 ■在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 50件	・地域包括支援センターの設置数 3箇所 ・3職種一人あたり高齢者数 1,500人以下 ・地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 40,000件 ・地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数 4,000件 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 50件
		②地域や関係機関のネットワーク強化 ・地域における支援体制の構築 ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定の充実（再掲） ・認知症になっても安心して暮らせる地域づくり連携協定の充実 【地域福祉課】	・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 13回（3包括合計） ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 49事業所	■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 20回（3包括合計） ■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 51事業所	■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計） ■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 53事業所	・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計） ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 50事業所
		(2) 認知症施策の推進				
		①認知症の理解と知識の普及 ・認知症サポーターの養成（再掲） ・地域への情報発信 ・認知症の人（本人）からの発信 ・認知症ケアパスの活用 【地域福祉課】	・認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 9回、延養成人数 140人 ・アルツハイマー月間in図書館の開催（展示、図書紹介、相談会&N-café）	■認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 18回、延養成人数 191人 ■アルツハイマー月間in図書館の開催（展示、図書紹介、相談会&N-café）	■認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 10回、延養成人数 250人 ■アルツハイマー月間in図書館の開催（展示、図書紹介、相談会&N-café）	・認知症サポーター養成講座の開催 開催回数 15回、延養成人数 220人 ・アルツハイマー月間in図書館の開催（展示、図書紹介、相談会&N-café）
		②認知症予防に資する可能性のある活動の推進 ・健康づくり活動の促進（再掲） ・地域で身近に通える場づくり ・専門職による相談の場づくり 【地域福祉課・健康課】	・つどいの場 66箇所 ぶらっとホーム 6箇所 ほっとカフェ 22箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 28箇所 その他 7箇所	■つどいの場 76箇所 ぶらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 26箇所 ふれあい・いきいきサロン 9箇所 にっしん体操スポット 29箇所 その他 5箇所	■つどいの場 81箇所 ぶらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 27箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 7箇所	・つどいの場 85箇所 ぶらっとホーム 7箇所 ほっとカフェ 25箇所 ふれあい・いきいきサロン 10箇所 にっしん体操スポット 30箇所 その他 8箇所
		③早期発見・早期対応体制の整備 ・認知症地域支援推進員の配置 ・医療、介護等の支援ネットワーク構築 ・薬剤師会による「ものわすれ相談窓口」の充実 ・認知症初期集中支援チームの活動強化 ・認知症支援ネットワークの構築 【地域福祉課】	・認知症地域支援推進員の配置 市役所 1人、地域包括支援センター各1人 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 29件 ・認知症初期集中支援チームの設置 支援件数 8件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 13回（3包括合計）	■認知症地域支援推進員の配置 市役所 1人、地域包括支援センター 各1人 ■在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 39件 ■認知症初期集中支援チームの設置 支援件数 2件 ■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 20回（3包括合計）	■認知症地域支援推進員の配置 市役所 1人、地域包括支援センター 各1人 ■在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 50件 ■認知症初期集中支援チームの設置 支援件数 10件 ■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計）	・認知症地域支援推進員の配置 市役所 1人、地域包括支援センター各1人 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の運営 相談件数 50件 ・認知症初期集中支援チームの設置 支援件数 12件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計）

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
		④地域支援体制の強化 ・認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・認知症やさしい手ネットにっしんの普及促進 ・認知症高齢者等行方不明時捜索模擬訓練の開催支援 ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定の充実（再掲） 【地域福祉課】	・認知症サポーターステップアップ講座の開催 開催回数 3回、参加人数 23人 ・認知症高齢者等行方不明捜索情報配信（認知症やさしい手ネットにっしん）の運用 事前登録者数 95人 メール配信登録者数 218人 FAX配信登録者数 262人 配信回数 11回 ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 49事業所	■認知症サポーターステップアップ講座の開催 開催回数 3回、参加人数 27人 ■認知症高齢者等行方不明捜索情報配信（認知症やさしい手ネットにっしん）の運用 事前登録者数 82人 メール配信登録者数 302人 FAX配信登録者数 255人 配信回数 12回 ■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 51事業所	■認知症サポーターステップアップ講座の開催 開催回数 3回、参加人数 30人 ■認知症高齢者等行方不明捜索情報配信（認知症やさしい手ネットにっしん）の運用 事前登録者数 100人 メール配信登録者数 320人 FAX配信登録者数 260人 配信回数 15回 ■高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 53事業所	・認知症サポーターステップアップ講座の開催 開催回数 3回 ・認知症高齢者等行方不明捜索情報配信（認知症やさしい手ネットにっしん）の運用 事前登録者数 110人 メール配信登録者数 250人 FAX配信登録者数 280人 配信回数 10回 ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所 50事業所
	(3) 家族介護者への支援充実					
		①家族介護者への支援 ・やさしい介護教室の開催 ・介護者リフレッシュ事業の実施 ・介護者のつどいの開催 【地域福祉課・介護福祉課】	・やさしい介護教室の開催 開催回数 3回、延べ参加人数 27人 ・介護者のつどいの開催 開催回数 7回、延べ参加人数 19人	■やさしい介護教室の開催 開催回数 6回、延べ参加人数 49人 ■介護者のつどいの開催 開催回数 9回、延べ参加人数 34人	■やさしい介護教室の開催 開催回数 6回、延べ参加人数 60人 ・介護者のつどいの開催 開催回数 12回、延べ参加人数 48人	・やさしい介護教室の開催 開催回数 6回 ・介護者リフレッシュ事業の開催 開催回数 2回 ・介護者のつどいの開催 開催回数 12回
		②認知症の人とその家族の支援 ・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成 ・認知症カフェの設置 ・認知症家族交流会の開催 【地域福祉課・介護福祉課】	・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成 7人／年 ・認知症カフェ箇所数 5箇所 ・認知症家族交流会の開催 開催回数 8回、延べ参加人数 149人	■認知症カフェ箇所数 5箇所 ■認知症家族交流会の開催 開催回数 10回、延べ参加人数 152人	■認知症カフェ箇所数 6箇所 ■認知症家族交流会の開催 開催回数 12回、延べ参加人数 180人 ■認知症高齢者等個人賠償責任保険事業加入者 100人	・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成 10人／年 ・認知症カフェ箇所数 6箇所 ・認知症家族交流会の開催 開催回数 12回
		③介護休業制度の普及促進 【市民協働課・産業振興課】	・市ホームページで「育児・介護休業法（厚生労働省）」や「仕事と介護の両立（厚生労働省）」についてのリンクを掲載した。	■市ホームページで「育児・介護休業法（厚生労働省）」や「仕事と介護の両立（厚生労働省）」についてのリンクを掲載した。	■引き続き市ホームページで「育児・介護休業法（厚生労働省）」や「仕事と介護の両立（厚生労働省）」についてのリンクを掲載する。	・引き続き市ホームページで「育児・介護休業法（厚生労働省）」や「仕事と介護の両立（厚生労働省）」についてのリンクを掲載する。
	(3) 高齢者の虐待防止・権利擁護					
		①高齢者の権利擁護の推進 ・虐待の早期発見・早期対応 ・尾張東部権利擁護支援センターによる相談支援 ・高齢者虐待ネットワークの構築 ・成年後見制度等の利用促進 ・市民後見人の養成 【地域福祉課】	・虐待ネットワーク会議の開催：1回／年 ・成年後見制度市長申立件数：3件／年 ・市民後見人養成講座の開催：第3期（H31-R2） ・虐待に関する研修会：2回／年 ・権利擁護に関する勉強会 8回／年 ・市民後見人バンク登録者数：8人／第3期（H31-R2） ・市民後見人受任者数：4人	・虐待ネットワーク会議の開催：0回／年（新型コロナの影響により会議は中止） ・成年後見制度市長申立件数：4件／年 ・市民後見人養成講座の開催：第4期（R3-R4） ・虐待に関する研修会：1回／年 ・権利擁護に関する勉強会 6回／年 ・市民後見人バンク登録者数：15人／第3期（R3-R4） ・市民後見人受任者数：2人	・虐待ネットワーク会議の開催：1回／年 ・成年後見制度市長申立件数：5件／年 ・市民後見人養成講座の開催：第4期（R3-R4） ・虐待に関する研修会：2回／年 ・権利擁護に関する勉強会 10回／年 ・市民後見人バンク登録者数：15人／第3期（R3-R4） ・市民後見人受任者数：5人	・虐待ネットワーク会議の開催：1回／年 ・成年後見制度市長申立件数：5件／年 ・市民後見人養成講座の開催：第4期（R3-R4） ・虐待に関する研修会：2回／年 ・権利擁護に関する勉強会 10回／年 ・市民後見人バンク登録者数：10人／第4期（R3-R4） ・市民後見人受任者数：5人

第8期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

凡例：★新規事業、■継続事業、▲縮小・見直し事業、●拡充事業

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	令和2年度 （初期値）	令和3年度（実績）	令和4年度（計画）	令和5年度 （目標値）
5	地域共生社会の実現	5 地域共生社会の実現	・家族や友人・知人以外の相談相手：38.5% ・地域の人たちに対してできる手助け：19.2%			・家族や友人・知人以外の相談相手：35.0% ・地域の人たちに対してできる手助け：15.0%
		（1）地域共生社会の実現				
		①相談支援体制の構築 ・包括的な相談支援体制の構築 ・包括的支援体制の構築 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・子育て支援課・市民協働課】	消費生活相談件数 259件 ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議開催回数 2回 ・地域包括支援センターの設置数 3箇所 地域包括支援センターが相談を受けた件数 延べ 35,841件	■消費生活相談件数 180件 ■生活困窮者自立支援事業支援調整会議開催回数 6回 ■地域包括支援センターの設置数 3箇所 地域包括支援センターが相談を受けた件数延べ 36,959件	■消費者トラブル未然防止のため、継続的に啓発を行う。 ■生活困窮者自立支援事業支援調整会議開催回数 12回 ■地域包括支援センターの設置数 3箇所 地域包括支援センターが相談を受けた件数延べ 37,000件	消費者トラブル未然防止のため、継続的に啓発を行う。 ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議開催回数 12回 ・地域包括支援センターの設置数 3箇所 ・地域包括支援センターが相談を受けた件数延べ 40,000件
		②参加支援の推進 ・育成、就労、社会参加の場の整備 ・共生型サービスの展開 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・子育て支援課・市民協働課】	・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 141人、受入施設 6施設 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 8人 ・ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 14人 ・ボランティアセンター登録団体数 68団体 ボランティア相談 相談件数 45件	■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 145人、受入施設 31施設 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 16人 ■ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 105件 ■DV・性暴力被害相談 毎月1回、計12回実施	■介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 150人、受入施設 31施設 ■生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ■ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 15人 ■ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 80件 ■DV・性暴力被害者を保護・救済するため、毎月1回、年間12回継続実施する。	・介護支援ボランティア事業 登録ボランティア人数 160人、受入施設 25施設 ・生活支援サポーター養成講座の開催 開催回数 4回、修了者数 20人 ・ボランティアドライバー養成講座の開催 開催回数 2回、修了者数 15人 ・ボランティアセンター登録団体数 70団体 ボランティア相談 相談件数 75件
		③地域づくりに向けた支援の推進 ・地域課題の解決に向けた体制整備 ・地域ネットワークの強化 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・子育て支援課・市民協働課】	地域支援員による巡回支援を行った。 12ヵ月×19区 ・地域包括ケア検討会議 開催回数 3回 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 1回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 13回（3包括合計）	■地域包括ケア検討会議 開催回数 2回(6/1・3/14) ■在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回(6/18・2/14) ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 0回 第2層協議体開催回数 6回（3圏域合計） ■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 20回（3包括合計） ■地域支援員による巡回支援を行った。 12ヵ月×19区	■地域包括ケア検討会議 開催回数 3回 ■在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回 ■協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ■地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 20回（3包括合計） ■地域支援員による巡回支援を行う。 12ヵ月×19区	区長に対し、引き続き継続して地域支援員による区長事務のサポートを行う。 ・地域包括ケア検討会議 開催回数 3回 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数 2回 ・協議体の開催 第1層協議体開催回数 2回 第2層協議体開催回数 12回（3圏域合計） ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議 開催回数 18回（3包括合計）

第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定スケジュール（案）

	令和4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年 1月	2月	3月
■1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査(アンケート)																					
調査の実施	調査説明会	委託契約 (プロポーザル)			調査票検討		調査票 発送準備	発送・回収	データ 集計・分析	報告書 作成											
■2. 各種基礎データ作成と計画の立案																					
①現状把握									調査結果活 用例の提示	第8期計画の進捗状況等 現状把握											
②介護保険の推 計・見込(サービス 見込み量等)											給付実績分析・ 各種フレーム推計	基本方針 (案)の提示	サービス見込み量等の 初期値の試算		シミュレーション作業						
③施策事業の整 理・分析										現状の施策事業の整理・課題の抽出				施策検討							
④関係機関等調査							市内の介護サービス事業 所へのアンケート調査														
⑤計画書の立案												骨子		素案1			素案2		パブリックコ メント実施		計画書 完成
■3. 高齢者福祉・介護保険事業計画運営協議会の開催																					
運営協議会 ※会議日程は予定		策定スケ ジュール案 報告等				調査票 確認						課題・ 骨子提案				計画案		計画案		計画の確認	
地域包括ケア検討 会議 ※会議日程は予定									8期計画 報告等			課題・ 骨子提案				計画案		計画案		計画の確認	